

Dentistry, Quo Vadis?

—フロネシスに基づいて(IX)—

「骨免疫学」は歯学発展にどのように寄与するか

—顎骨破壊のメカニズムを考える—

研究は教育と歯学臨床に進歩をもたらすか

基礎科学者と臨床家が一堂に会して歯学の将来を議論する「Dentistry, Quo Vadis?」は今年で20回目を迎える。1stステージ「う蝕、歯周病、不正咬合、3つの病因論について」(10回)、総括(1回)、そして2ndステージでは、「フロネシスに基づいて」(8回)において、骨代謝研究の専門家をお招きし基礎医学と歯科臨床学からインプラント「学」確立を試み、貴重な知的財産を得た。さらに、ヒトの全生涯にわたって「Dentistry」の役割・使命が改めて明確になった。特に、昨年の特別講演植田耕一郎先生は声を大にして「歯を残す、機能を残す」重要性を訴えられた。そのためには、「細菌と力(咬合)」の問題をもっと掘り下げなければならない。そこで、今年度は「骨免疫学」から歯学の発展を考えてみた。特別講演には骨免疫学研究者である塚崎雅之先生に「歯周病による骨吸収における細菌と力の関係を探る—骨免疫学の観点より—」と題し、高橋直之先生には「骨代謝研究から生まれたデノスマブ」、吉成正雄先生には「生体材料、主として力学的性質」、春日井昇平先生には「臨床における顎骨吸収の実態」、小宮山彌太郎先生には「インプラント周囲炎の要因は細菌か、力か」を予定している。さらに、「研究は教育と歯学臨床に進歩をもたらすか」についても議論する。いよいよ、総合的観点に立った「Dentistry」を確立する道すじが明確になってきた。

Dentistry, Quo Vadis? 企画委員会

2 Days Seminar 2017

12/9 ▶ 12/10
土 日

10:00~18:00

9:30~17:00

座長・総評



高添 一郎
東京歯科大学
名誉教授

座長



須田 立雄
日本学士院会員
埼玉医科大学
ゲノム医学研究センター客員教授

座長



山田 正
東北大学名誉教授
介護老人保健施設
清和苑副施設長

特別講演

塚崎 雅之

東京大学大学院 医学系研究科 免疫学博士課程
日本学術振興会 特別研究員



歯槽骨吸収における細菌と力の関係を探る

—骨免疫学の観点より—

演者



小宮山 彌太郎
東ブローネマルク・オッセオインテグレーション・センター
東京歯科大学臨床教授
神奈川歯科大学客員教授



高橋 直之
松本歯科大学
大学院歯学独立研究科長
総合歯科医学研究所長



春日井 昇平
東京医科歯科大学
大学院歯学総合研究科
インプラント・口腔再生医学教授



吉成 正雄
東京歯科大学
口腔科学研究センター
客員教授

コメンター



山口 朗
東京医科歯科大学名誉教授
東京歯科大学
口腔科学研究センター客員教授

会場 星陵会館(東京)

千代田区永田町2-16-2(永田町駅下車6番出口から徒歩3分)
Tel.03-3581-5650 <http://www.seiryokai.org/kaikan.html>

参加費
(含税昼食込)
2日間

■ 歯科医師 ¥20,000

■ 歯科技工士・歯科衛生士・学生 ¥10,000

※参加費の返金は致しかねますので、ご了承ください。

京都銀行 白梅町(はくばいちょう)支店 普通3787964
QuoVadis企画会 代表 竹澤保政(クオアデイスキカカイダイヒョウタケサマ)

【申込み方法】 左記の口座に参加費をご入金の上、参加申込書に必要事項をご記入いただき、下記までFAXでお申込みください。

お振込・FAXの締切は12/7(木)まで それ以降は当日受付にて。お申し込み受領の連絡は省略させていただきます。領収書発行は当日受付で承ります。

お問い合わせ先 ヒロコデンタルケア TEL.03-3708-3847(担当:大淵)

●主催: Dentistry, Quo Vadis? 企画委員会

FAX送信用/参加申込書(2017.12.9~10)

ご氏名: _____ (歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・学生)

連絡先名(診療室等): _____

連絡先住所: 〒 _____

Tel: _____ Fax: _____ e-mail: _____

懇親会(12月9日) ¥8,000: 参加 不参加 (どちらかに○をお付けください)

FAX送信先: 03-3708-3845 まで